



2025 年 4 月 18 日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社
合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

コスモ石油マーケティングとスターラックス航空が SAF 基本合意書を締結

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）と、スターラックス航空株式会社（最高戦略責任者：劉允富、以下「スターラックス航空」）は、持続可能な航空輸送の推進に向けて SAF (Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料) の基本合意書を締結しました。

本契約で取引される SAF は、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され（※1）取り組んできたものであり、国内で初めて大規模生産される国産 SAF です。持続可能な製品の国際的な認証制度「ISCC CORSIA 認証」「ISCC EU 認証」を取得しています（※2）。コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也）の 3 社により設立された合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志）が製造し、2025 年度にコスモエネルギーグループを通じて神戸空港にてスターラックス航空に供給を予定しています。



スターラックス航空の機体
(Photo provided by STARLUX.)



SAF 製造装置（コスモ石油堺製油所内）
(提供：合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY)

コスモエネルギーグループは「2050年カーボンネットゼロ」をめざし、日本初の国産 SAF 供給に向けてサプライチェーン構築を進めてまいりました。また、SAF 原料への再利用を目的として、サービスステーションでの廃食用油の市民回収実証を継続的に展開するなど、社会全体の機運醸成も後押ししています。今後も、脱炭素化や循環型社会の実現を重要なテーマと認識し、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざすとともに、引き続き航空輸送における SAF 活用を推進し、資源循環とサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

〈各社コメント〉

コスモ石油マーケティング 代表取締役社長 高山 直樹

「SAF は当社が持つ脱炭素商材の一つとして、空の脱炭素につながる重要な商品であり、世界的なネットワークを持つスターラックス航空の脱炭素に貢献できることをうれしく思います。今後とも、本取り組みをはじめとして SAF を活用した脱炭素社会の実現を後押ししてまいります。」

SAFFAIRE SKY ENERGY 代表者 高田 岳志

「2021 年より本邦政府、経済産業省資源エネルギー庁、NEDO のご支援を賜り、日揮ホールディングス株式会社、コスモ石油株式会社、株式会社レポインターナショナルと事業化を進め、「ACT for SKY」や「Fry to Fly」などの活動により、国内資源循環の大きなうねりを作り出した結果が結実したものと関係された皆様に感謝申し上げます。」

スターラックス航空 最高戦略責任者 劉允富

「スターラックス航空は、持続可能な航空の理念実現に向けて尽力しており、常に革新的技術とサステナビリティへの関心を持って取り組んでいます。旅客機・貨物機の導入においても、省燃費かつ低炭素排出の機材を積極的に採用しており、新造機のフェリーフライトでもすでに SAF を 5% 以上使用しています。今後も SAF の使用率を段階的に高め、グローバルな航空業界において持続可能な発展のロールモデルとなることをめざしてまいります。」

※1 NEDO ウェブサイト https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

※2 2024 年 12 月 13 日プレスリリース

「ISCC CORSIA 及び ISCC EU 認証(国際持続可能性カーボン認証)の取得について」

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html>

以上